

『東北圏だより』



復興期間終了まで残り3年を見据え

宮城復興局

東日本大震災から7年が経過し、復興・創生期間も3年目、10年間の復興期間終了までの残り3年間となりました。

宮城県内の災害公営住宅、民間住宅等宅地（防災集団移転促進事業、土地区画整理事業、漁業集落防災機能強化事業）の平成30年2月末時点での完成実績は、災害公営住宅が15,389戸、進捗率97.1%、民間住宅等宅地8,005戸、進捗率89.0%（※1）となっており、住まいの確保が着実に進んでいます。

例えば、女川町では、災害公営住宅859戸すべての引き渡しが完成し、4月18日に女川町まちなか交流館で完了式典（※2）が開催されました。

なお、女川町の民間住宅等宅地（防災集団移転促進事業、土地区画整理事業、漁業集落防災機能強化事業）は平成30年度末までに完成する予定（※3）です。



▲ 女川町災害公営住宅整備事業 完了式典

（撮影：宮城復興局）



▲ 完成した災害公営住宅（女川町（宮ヶ崎地区））

（出典：復興庁HP（つちおと情報館（※4））

平成30年1月30日付けで名取市閑上地区まちなか再生計画（※5）が認定されました。宮城県内では4番目となります。計画の概要ですが、水辺のあるまちの特徴を活かし、名取川堤防沿いに、にぎわい拠点として商業施設を整備するほか、計画区域内に住宅や公共施設、公園等を整備することになっています。

名取市では平成31年5月に「閑上地区のまちびらき」を開催すべく整備を進めていくこととなります。平成30年5月27日（日）には復旧・復興への更なる加速化を図るべく「閑上復興促進イベント」が開催（※6）されます。

閑上地区復興促進イベント ▶
（提供：名取市）

名取市
復興促進イベント
5/27日
会場 名取市閑上区閑上北町赤井地
主催 名取市

また、関上小中学校が完成し、平成30年4月7日に開校式が行われました。関上小学校と中学校の一貫校で1年生から9年生まで139名（※7）が元気に通っています。



▲ 関上小中学校開校

(提供：名取市)



▲ 校舎の写真

(撮影：宮城復興局)

県・市町などと連携しながら、宮城復興局として、復興期間終了までの残り3年を見据え、復興の総仕上げに向けて、地域や被災者のニーズにきめ細かく対応してまいります。

(参考URL)

※1 復興庁HP：災害公営住宅及び民間住宅等用地の供給状況

<http://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-15/20150618121926.html>

※2 復興庁HP：復興だより（宮城県）女川町災害公営住宅整備事業が完了しました

http://www.reconstruction.go.jp/portal/chiiki/2018/20180424130307.html?index_no=0

※3 復興庁HP 住まいの復興工程表

<http://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-12/20130730105832.html>

※4 復興庁HP つちおと情報館

<http://www.reconstruction.go.jp/archive/tsuchioto/index.html>

※5 復興庁HP 名取市関上地区まちなか再生計画認定について

<http://www.reconstruction.go.jp/topics/m18/01/20180129180158.html>

※6 名取市HP 平成30年3月29日定例記者会見より

http://www.city.natori.miyagi.jp/bunya/politics/mayor/node_37262/node_44610/node_50294

平成30年5月7日新着情報 復興促進イベントを開催します

http://www.city.natori.miyagi.jp/news/node_50678

※7 名取市HP 市長行動記録より

http://www.city.natori.miyagi.jp/bunya/politics/mayor/record/node_50367/node_50368/node_50501

「つながろう！若手公務員シンポジウム in 仙台」の開催について

東北財務局

東北財務局では、国・地方公務員に求められている「企画力」、「巻き込む力」をサポートするため、「つながろう！若手公務員シンポジウム in 仙台」を開催します。

本シンポジウムに関心がございましたら、ぜひご参加頂ければと思います。

【開催概要】

○日時：平成30年5月25日（金） 14：30～17：15

（※18：00～20：00 シンポジウム参加者による懇親会を予定しております。）

○場所：仙台合同庁舎 A 棟 8F 講堂（仙台市青葉区本町3-3-1）

○目的：国・地方公務員に求められている「企画力」、「巻き込む力」をサポートする

○内容：官民ゲストスピーカーによるリレートーク

「スーパー公務員 脇 雅昭氏」（総務省出身、「よんなな会」主催者）による講演
参加者とゲストとのセッション

シンポジウム参加者による懇親会（会費制）

○出席予定者：国・地方公務員（中堅、若手職員（40代まで）を想定しています。）

民間企業（紹介制）、大学生等

◎申込み先アドレス kikaku@th.lfb-mof.go.jp

担当：東北財務局総務課 佐藤（琢）、菅野

※参加申込書①～⑤の内容を記載して下さい。



要申込 無料

つながろう！ 若手公務員シンポジウム in 仙台

東北は、高齢化が進む遅れ先進地域。他の地域以上に、国と地方、官と民が一体となって地方創生に取り組む必要があります。こんな時期の下、「公務員の可能性」と仲間と考え、参加者の意識や行動を変えたいことを通じて、各地の地方創生を応援するために本会を企画しました。

仲間 と話せば、進むべき **道** が見えてくる！

5/25 金 14:30

会場 **仙台合同庁舎**（受付：A棟1F）
対象 **国や東北地方の公務員（中堅・若手）**
民間企業（紹介制）・大学生

■14：30～17：15 A棟 8F 講堂

■官民ゲストスピーカーによるリレートーク
・羽後町 佐藤 正和（企画課課長補佐）
・仙台市 中野 賢枝子（プロジェクト推進課長）
・東北財務局 菅野 大志（総務課企画係長）
・㈱第一広告社 伊藤 愛発（地域デザインプロデューサー）
・じゃらんリサーチセンター 竹 直也（エリアアドバイザー）

■講演 脇 雅昭氏
～公務員の可能性を考える～

■参加者とゲストとのSESSION！
参加費や大学生の質問に答えます！参加者の疑問にご紹介下さい。

■18：00～20：00 会費制
ゲスト・参加者との交流会

定員 300名

スーパー公務員 脇 雅昭氏
【よんなな会 主催者】
【神奈川建設機械協会の部長・観光部長】

【脇雅昭氏（1982生、宮崎県出身）】
■2008年に総務省に入省。
■2013年から神奈川県庁に出向。
現在は、知事室政策推進担当部長と観光部長を兼務。
■広く深い人脈を生かして、「よんなな会」を主催。
国家公務員と47都道府県の地方自治体職員や民間企業など、セクターを超えた仲間づくりを進めるスーパー公務員！入省後に受験した司法試験に合格。

お問合せ（主催） **東北財務局 総務課**
022-263-1111（担当：鈴木、佐藤、菅野）

詳細・申込 裏面を参照！

参加申込書

締切：5/24(木)まで
申込は定額。定員に達した場合は受付中が満席となります。

○シンポジウム参加希望の方は、下記①～⑤を記載し、いずれかの方法でお申し込みください。
■ ☎ 022-263-1111(東北財務局総務課 佐藤(琢)・菅野(3762/3760))
■ ✉ kikaku@th.lfb-mof.go.jp ■ FAX 022-217-4093 ■ LINE

① お名前（代表者のみ）	(ふりがな)
② 電話番号	☎ () -
③ 業種／参加人数	/ 人
④ 交流会参加人数	人
⑤ 質問やPRしたことがありますら、記載下さい。	

○定員に達した場合は、代表者にご連絡します。個人情報は適切に管理し、本シンポジウム運営のために使用します。
○長期参加者は、国や地方自治体からの紹介いただいたこととなります。

リレートーク スピーカー紹介

地方創生推進課長！未来を拓くアイデアマン
-「羽後町の今年度子育で、うごくりで一番うごいている職員です！」
-「うちも来年度の学校を仕掛けていきます！」
佐藤 正和【羽後町の企画課課長補佐】

地域活性化の企画とプロモーションのプロ
-地域活性化の企画とプロモーションのプロです。熱意や思いを持った様々な分野の方が立ち上がり、またネットワークを築くことで進捗は開けると感じています。
-「会費は「DVID PRIDE」！私も専業主婦の一人として、地域に誇りを持ち、ともに学んでいきます！」
伊藤 愛発【第一広告社のデザインプロデューサー】

「誰」「誰か」「誰か」を大切に！
-国・地方の公務員からは、熱意ある民間事業者を求めています。
-一方、民間事業者からは、熱意ある公務員を求めています。
-人（仲間）との出会いを通じて、今、私たちに求められている「巻き込む力」や「企画力」を養い、地域課題解決の一助になれば幸いです！
菅野 大志【東北財務局総務課企画係長】

東北に特化を呼び込むアイデア職員！
-仙台において、国家戦略特区、ドロンを活用した津波復興立地単位の広域連携事業、人口減少・超高齢化社会を背景とした仙台市広域圏の広域連携による地方創生の推進など様々なプロジェクトに関与しています。
-民間事業者の水準を超える方々と協力しながらプロジェクトを進めることに励み、日々で学ばせて頂いています。
中野 賢枝子【仙台市プロジェクト推進課プロジェクト推進係長】

観光分野の楽しいスペシャリスト
-観光は仕事です。人々の笑顔が命を創出しています。地方創生が叫ばれたいですが、地方に住む私たちが、未来に誇りを持ち続けなければならない。誇りある観光を推進し、東北を誇りに思いながら未来を創る。観光分野から考えたいです。
竹 直也【リサーチセンター・エリアアドバイザー】

シンポジウム ■14：30～17：15 A棟 8F 講堂
(受付時間09:00～18:00 仙台市青葉区本町3-3-1)

交流会 ■18：00～20：00 B棟 2F 食堂
■会費制 (4,000円以内)
■ゲストも参加しますので、交流を深めましょう！

ご注意 ■本シンポジウムの駐車場はございません。
■大学生も参加可能ですが、交流会は20歳から参加可能です！

またA棟1階にお越し下さい。

推進室の一員となって①

東北圏広域地方計画推進室 総括副室長 佐々木 昭雄
(東北地方整備局 建政部 建設産業調整官)

4月1日付けで着任しました佐々木と申します。よろしくお願いいたします。

昨年度は東北地方整備局岩手河川国道事務所に勤務しておりました。

岩手河川国道事務所では現在、復興支援道路としての一般国道106号宮古盛岡横断道路、東北横断自動車道釜石秋田線（釜石花巻道路）のいわゆる「横軸」の完成に鋭意邁進しているところであり、事務官として直接ではありませんが私もこれらの事業に携わらせていただきました。

その際地域の皆さんからお話を伺うにつけ、それぞれの地域が震災からの復興、人口減少や地域の高齢化対策といった多くの課題を抱えるなか、地域間医療連携、産業振興、観光政策推進等、交通ネットワーク整備による効果への期待がいかに大きいかを感じておりました。

東北圏は今、道路のみならず鉄道、空路、港湾機能の整備・拡充等とさまざまな事業が進められておりますが、それらによる「防災先進圏域」の実現とともに、時間地図の縮小等による地域間の対流促進などの効果もまた期待されております。

東北圏の将来像を見つめつつ、各関係機関の皆様と連携しながらプロジェクトを推進していくこと、このような仕事に携わる機会を戴き、甚だ微力ではありますが計画の一層の推進に取り組んでまいります。

皆様のご協力・ご指導をいただきますことを、重ねてお願いいたします。

推進室の一員となって②

東北圏広域地方計画推進室 副室長 宮川 浩幸
(東北地方整備局 企画部 環境調整官)

4月1日付けで副室長に着任しました宮川と申します。昨年度までも推進室の一員でしたので、引き続きよろしく申し上げます。

本計画が策定された平成28年3月以降も、東日本大震災からの復興事業は概ね順調に進捗しています。今後は残った事業の着実な完成と、ソフト面の取り組みが重要であることが、様々な方の発言にあります。また、東北にとっての大きな課題が、人口減少に対応した地域づくりだと思います。私の実家がある秋田はその典型的な地域です。たとえば秋田で成功例が一つでも増えていくなど、地域のためになる取り組みが積み重なってほしいと願っています。

こうしたことが実現するよう、微力ではありますが、計画の推進に取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

推進室の一員となって③

東北圏広域地方計画推進室 副室長 山口 智
(東北運輸局 交通政策部 計画調整官)

4月1日付けで東北圏広域地方計画推進室副室長に就任いたしました山口と申します。

これから、震災復興から自立的発展へという壮大な目標を達成するための東北圏広域地方計画の推進に携わるわけですが、副室長という大役を仰せつかった割には、前職の自動車技術安全部では、地域振興・観光振興の推進のための名目として、地方版図柄入りナンバーの促進等に携わったくらいで、観光、空港関連業務は初めての業務となり、皆様にご迷惑をおかけするかと思っておりますが、東北圏の更なる自立的発展を目指し、皆様方のご指導・ご協力をいただきながら計画の推進に取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

推進室の一員となって④

東北圏広域地方計画推進室 副室長 宮地 和久

(東北運輸局 観光部 次長)

4月1日付けで、東北圏広域地方計画推進室の一員になりました宮地でございます。

3月までは東北運輸局の自動車交通部で、バス・タクシー・トラック等の許認可と監査・行政処分等の業務を行っておりました。4月からは観光業務並びに当推進室の業務を担当することとなりましたので、よろしくお願い致します。

観光業務につきましては、初めて担当する業務ではありますが、東北の観光復興のため、東北六県の外国人宿泊者数を2020年に150万人泊(2015年の3倍)とすることを目標に、甚だ微力ではありますが取り組んで参ります。

東北圏広域地方計画につきましては、計画策定時に物流の観点から若干携わった経験がございますが、未知の部分も多数ございますので、関係者の皆様のご協力をいただきながら取り組んで参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

編集後記

今年のゴールデンウィークは、後半の天候が悪く外出の予定をキャンセルして、家族でのんびり過ごしました。皆様方はゆっくり休まれ、リフレッシュできましたでしょうか。

さて、東北圏広域地方計画の取り組みも3年目となります。東北圏の益々の発展を目指して、協議会一丸となって取り組んで参りますので、引き続きよろしくお願い致します。

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。メールアドレス：thr-kou-suishin2@mlit.go.jp